



# 館山市議会議員 森 正一 活動報告(第27号)

発行日：平成30年1月吉日  
 発行者：もり正一後援会(討議資料)  
 連絡先：館山市八幡277-19  
 TEL：090-2652-3218  
 ホームページ：http://www.awanew.com

## 【プロフィール】

- ・昭和42年5月17日生まれ、50歳
- ・北条小、三中、安房高、東北大学工学部卒
- ・館山市議会議員、現在2期7年目
- ・文教民生委員会委員長
- ・たてやま21・緑風会会派代表
- ・北条FC代表、館山市サッカー協会監事

## はじめに

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。この一年が皆様にとりまして良き年となりますよう心よりお祈り致します。

平成29年第4回定例会が昨年12月に開催され、行政一般質問におきまして「子育て支援」、「第三中学校の耐震化」、「健康増進・健康寿命の延伸」、「通学路の交通安全対策」などについて質問しました。全国市議会議長会研究フォーラムの出張報告等とあわせてご報告いたします。

## 行政一般質問における質問・回答要旨・所感

### (質問1) 子育て支援について

Q1. 来年度、北条幼稚園以外の幼稚園における、預かり保育の導入の検討状況は？

A1. 実施の予定はない。他園での実施は、幼稚園の再編や保育園との「こども園」化を見据えて検討していく。

Q2. 北条幼稚園以外の幼稚園の保護者に対して、預かり保育の希望調査は行ったのか？

A2. 他園の保護者に対するアンケート調査は行っていない。預かり保育においては受け入れ態勢の確保が重要であり、この点を含め今後について検討していきたい。

Q3. 幼稚園の統廃合やこども園化には時間とお金がかかる上、第三中学校の耐震化などの大規模事業が控えている。来年度は新たな導入は行わないとのことであるが、ぜひアンケート調査を実施し、その希望に応じて預かり保育の実施をしていただけないか？

A3. アンケートを実施すること自体が保護者に期待を持たせてしまうので、受け入れ体制が整わない段階では調査を進められない。北条幼稚園における預かり保育は概ね好評であり、他園でも預かり保育の希望はあると思うが、受け入れ態勢の確保ができていないと実施に踏み切れないため、来年度はこのようなことの醸成期間として考えて頂きたい。

### (所感)

10月末に実施した第3回議会報告会の中で、女性の立場からのご意見として、働きながら子育てをしている若者世代への支援策についての要望がありました。その中には、預かり保育に限らず、病児・病後児保育の充実や大学等の進学支援についてのお話もありました。

館山市は、子育て支援に力を入れていると言ってはおりますが、まだまだ、不十分なところが多々あるのではないかと思います。また、北条幼稚園のみで預かり保育を実施し、他の園では実施しないのは公平性に欠けています。他の園においても預かり保育に対するニーズの把握をするとともに、受け入れ態勢の確保を進め、他の園においても早期に預かり保育を実施していただけるよう、引き続き強く要望していきたいと思います。



## (質問2) 第三中学校の耐震化について

Q1. 耐震化の検討は？ また、財源確保の状況は？

A1. 校舎の建替えを前提として取り組んでおり、結論は今年度中に示す予定である。また、平成29年度中に目途が立つよう、引き続き、鋭意努力しているところである。

Q2. 有利な財源確保の如何によらず、建替えを前提としているということによろしいか？ また、今年度中というのは3月議会までに結論が示されると受け取って良いか？

A2. 市の方針としては、有利な財源を確保して建替えを行いたいということである。また、明言はできないが、検討結果については3月議会までに報告したいと考えている。

Q3. 避難訓練の実施時状況はどうか？ また、通常の避難訓練は耐震性能に問題がないことが前提として行われていると思うが、第三中学校では、耐震性能が不足していることを踏まえての避難訓練を行っているのか？

A3. 4月に地震と津波を想定した避難訓練、9月に火災を想定した避難訓練を実施しており、1月にも地震を想定した避難訓練を予定している。また、耐震性能の有無による避難訓練の違いについては把握していない。揺れている間は机の下にもぐり、揺れが治まった外に出るといった通常の訓練を実施している。

(要望) 耐震性能の低い建物であるため、机の下にもぐっている最中に倒壊する危険がある。今後、耐震性能の低い建物における避難対策についての調査・研究を要望しました。

## (所感)

これまでの繰り返しになりますが、学校施設は子どもたちが多くの時間を過ごすとともに、地域住民の災害時における避難所となります。今年度中に有利な財源確保に目途が立たなかった場合には、通常の文部科学省の補助により、事業を実施する事になると思いますが、建替える方向で、かつ、早期に耐震化の完了を実施しなくてはなりません。この件に関しても、引き続き強く要望してまいります。



## (質問3) 健康増進・健康寿命の延伸について

Q1. 特定健診、後期高齢者検診、各種がん検診、特定保健指導の受診率向上対策とその状況は？

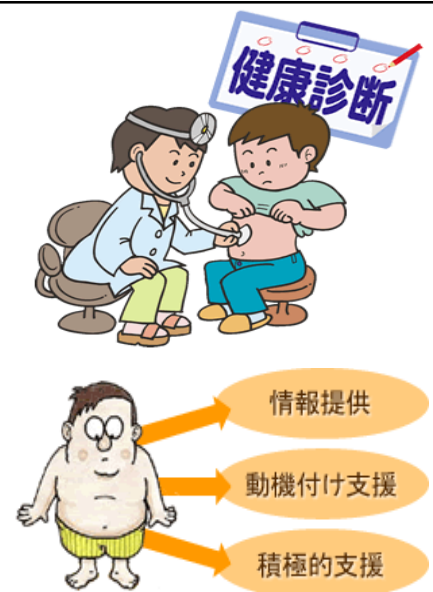
A1. 総合検診の土日の開催や大腸がん検診の夜間における検体の回収、国民健康保険新規加入者や未受診者のための秋の特定健診も実施している。また、周知の取組として、広報の活用や総合検診ポスターの掲示、区長会等でのPR、電話による勧奨なども実施しており、平成28年度の特定健診受診率は、35.9パーセントで、前年度より1.3ポイント向上した。新たな取組として、特定健診の質の確保・向上を図るため、現在、安房地域における健診体制や運用について、安房医師会と協議を進めている。また、検診の周知方法として、母子健康手帳アプリを利用した勧奨、年齢・性別など、対象者ごとの個人通知も検討している。さらに、未受診者対策として、受診履歴や結果、問診票などのデータ分析による対象者のタイプに合わせた新しいパンフレットの作成、市民が受診しやすい健診を目指して施設健診の拡大の検討など、受診率の向上を図っていく。

特定保健指導についても、土日にも実施するなど、利用しやすい指導を目指している。また、特定保健指導の一部については、高いスキルや専門性を有する民間事業者に委託するなど、保健指導完了率の向上に努めており、平成28年度の保健指導完了率は41.8%で県平均の20.9パーセントと比較して、高い状況が継続している。

今後は、総合検診会場において個別面接を実施し、自らの身体の状態を認識し、健康づくりのための生活改善を促すことで市民の健康寿命の延伸が図られるよう、特定保健指導の対象者に対して、より一層の利用勧奨を行っていく。

## (所感)

目標には達してはいないものの、毎年徐々に特定健診の受診率は向上しており、また、特定保健指導の受診率も県平均の2倍という実績で、担当課の日頃の努力の成果が現れた結果ではないかと思えます。またこのことは、医療費の縮減による、今年度の国保税の引き下げに寄与していると思われまます。今年度は「館山市健康増進計画等策定業務委託」を実施しており、この中で「館山市健康増進計画」に加え、「第3期館山市国民健康保険特定健診・特定保健指導実施計画」、および、「第2期館山市国民健康保険実施計画」、いわゆる「データヘルス計画」を策定しています。これらの計画に基づき、引き続き、受診率の向上と、受診後の対応の強化を要望しました。



## (質問4) 通学路の交通安全対策について

Q1. 市役所前の市道1008号線の安全対策を早急に進めて頂けるよう再度要望しますが、いかがでしょうか？

A1. 現在、児童への安全指導を徹底するとともに、可能な限り、学校職員が児童と一緒に歩きながら注意喚起をしている。これに加えて状況を改善するため、歩行者の安全な通行を確保する工事の着手に向けて調整を図っている。また、市道1008号線における歩行者の安全な通行の確保に併せ、市役所北側の市道1001号線の拡幅及び歩道の新設についても、引き続き取り組んでいく。

Q2. 歩行者の安全な通行確保のための工事を行うとのことであるが、どのようなものなのか？

A2. 現状、市道1008号線を拡幅し、歩道を確保することが困難なため、歩道橋を下りた後、市役所の敷地内を通り、3号館西側の横断歩道まで安全で安心な歩行空間の確保を図りたいと考えている。工期としては、新学期に間に合うよう、3月中旬から3月末までを考えている。

## (所感)

この市役所前の通学路に関しては、かなり前から安全対策を求める声が上がっていたにもかかわらず、なかなか対応がなされなかった事案でありましたが、ようやく子どもたちの安全な歩行空間が確保されることとなり、安堵いたしました。

ほとんど毎日の下校時には、北条小学校の教頭先生が児童の下校の見守りをして下さっており、本当に頭が下がる思いでした。今まで大きな事故が起きなかったのは、このような見守りのお蔭と感謝しています。

この他にも、児童・生徒の登下校時における交通安全対策が必要な場所が多々ありますので、早急に対策がなされるよう引き続き要望していきたいと思います。



北条小児童の下校時の様子

## (質問5) スマートフォン等アプリの活用について

Q. 現在実施している、スマートフォン向けアプリを利用した市民や来訪者向けのサービスにはどのようなものがあるのか？ また、来年度以降、新たに導入を予定している、あるいは検討しているものはあるか？

A. 現在、健康課において『母子健康手帳アプリ』を導入し、運用している。来年度以降、新たに導入を予定、あるいは、検討中のアプリは無いが、最新の状況を常に調査・研究し、費用のかからないものや、費用対効果の高いものについては導入を検討していく。



行政アプリの一例

### (所感)

自宅にいながら携帯端末（スマホ）の操作のみにより、これまで市役所まで足を運ばなくてはならなかった行政サービスを、スマホ一つで利用できるようになれば、多くにの市民にとって利便性が向上するとともに、経費削減にもつながります。国もスマホアプリの行政サービスへの応用をすすめており、館山市としても、各種申請や登録、情報提供、市民からの要望・問題の通報、市民間の情報交換の場の提供等の機能を有する総合アプリの開発・導入を検討していくべきではないでしょうか。

## 全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路

平成29年11月15、16日の2日間、「第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路」に参加し、『議会改革をどう進めるか』をテーマとして、著名な講師の講演を聴いて参りました。研修報告書につきましては、会派別ホームページに掲載してありますので (<http://www.awanew.com>) ぜひご覧になってください。

今回の講演の中で、東京大学大学院教授である金井氏の「予算こそが議会の権力闘争の主戦場である」という一言に、強く共感しました。以前より、予算・決算審査特別委員会については、全議員と執行部との間で、とことん議論するべきであると主張して参りましたが、まさにこの考えが正当化されたように思いました。

現在、議会改革特別委員会におきまして、瀬能委員長のもと議会改革に取り組んでおり、今後、この件に関しても議論の対象として扱って頂けるよう要望して参りたいと思います。

## スポーツ観光について

現在、館山市では、2020年東京オリ・パラの開催に伴う事前キャンプの誘致を積極的に展開しており、オランダのホストタウンとして登録されるなど、確かな成果が現れています。しかしながら、オリンピックを契機としてだけではなく、常日頃より、スポーツを通じた交流人口の増加を目指すことが、地域経済の活性化には必要不可欠です。毎年、夏休みや冬休みには、多くのスポーツ団体が、合宿をしに館山をはじめとする南房総地域を訪れています。中でも中学バスケットボールの富浦ウィンターカップでは、期間中の延べ宿泊人数は約2,800人にもおよぶ見込みで、地域への経済効果は大きなものとなっています。私自身、少年サッカーチームの代表を務めていますが、この夏・冬だけで、約30団体と交流をしています。これらの交流人口をさらに増やすためには、社会体育施設の整備を進めるとともに、館山市の宝である自然環境の良さをもっと効果的にアピールすることが重要です。3月議会ではこの件についての要望・提案をしたいと考えています。

## おわりに

この5月には2期8年目に入り、今任期最後の1年となります。これまで、議会質問などを通じ、様々な要望や提案を行い、そのうちのいくつかは実現されました。しかしながら、前回の選挙の時に掲げた目標の中には、実現できていない事がまだ多く残っています。この1年、それらの目標を一つでも実現できるよう、全力で頑張る参ります。また、引き続き皆様のご意見・ご要望を市政に反映して参りたいと考えておりますので、どのようなことでも遠慮なくお申し付けください。